

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (J A S D A Q コード8732)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成23年3月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成23年3月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成22年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	794	775	860	843	1,249	882	855	627	622	584	729	616
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	75,878	71,294	66,193	79,232	137,860	78,141	69,980	63,673	84,155	71,247	91,748	72,162
顧客口座数 (単位：口座)	126,746	130,930	133,213	135,141	137,924	140,592	142,846	145,622	148,898	151,789	154,260	155,852
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	28,234	30,319	26,375	28,316	28,099	32,030	30,419	33,160	33,237	34,136	33,271	37,244

年 月	平成23年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	611	493	863									
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	71,791	65,614	102,934									
顧客口座数 (単位：口座)	157,862	159,773	161,785									
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	35,725	36,498	32,152									

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年6月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 3月次の概況 >

3月の外国為替市場は、米ドル/円については、11日の東日本大震災及びこれに端を発した福島第1原発を巡る事態の深刻化等から、17日には一時史上最安値となる76円台まで急落しました。その後、18日には日米欧による協調介入の実施をきっかけに81円台後半までドル高円安に急伸し、それ以降もドル高円安基調で推移した結果83円台半ばで月末を迎えました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、米ドル/円に連動する形で、ユーロ/円及びポンド/円等のクロス円通貨ペアの値が大きく動き、米ドル/円を含めた全体としての変動率は、2010年9月以来の低迷から回復し、概ね2009年12月から2010年2月にかけて、もしくは2010年6月から8月にかけての時期の月間平均変動率に相当する水準となりました。

この結果、外国為替取引高は、上記の市場要因に加え営業日数が23日と通常の前月より多かったことから、前月比約57%増の102,934百万通貨単位となり、営業収益は863百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替証拠金取引への注目の高まり等から顧客口座数は前月比2,012口座増の161,785口座と堅調に推移した一方、外国為替取引預り証拠金は、3月17日、18日の急激な相場変動による減少は限定的であったものの、その後のドル高円安基調に伴う利益確定の動き等から顧客のロングポジション（買建の建玉）が大幅に減少したこと等によりホワイトラベル提供先からの預り証拠金が大きく減少するなど、前月比4,346百万円減の32,152百万円となりました。

なお、3月17日並びに18日の急激な相場変動に伴って顧客の損失が預り証拠金の額を超えるケースが発生しておりますが、これら未収金の残高は3月末日現在で5百万円であり、業績等への影響は軽微であります。

以 上